

議 員 全 員 協 議 会

日 時	令和 2 年 12 月 8 日（火）開会中	10時30分 開会 11時37分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 中野康子 副議長 15 番 大井俊彦	
	1 番 鈴木長馬	2 番 濱崎一輝 3 番 原口康之
	4 番 吉田富士雄	5 番 平口朋彦 6 番 藤野 守
	7 番 名波喜久	8 番 植田博巳 9 番 村田博英
	10 番 良知義廣	11 番 澤田隆弘 12 番 鈴木千津子
	13 番 太田佳晴	14 番 大石和央
欠席議員		
傍聴議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 森田さおり	
説明員	市長、副市長、教育長、建設理事、企画政策部長、政策監 健康推進部長、教育文化部長	

署名 議長

開会の宣告

○議長（中野康子君）

時間となりましたので、ただいまより臨時の議員全員協議会を始めます。

本会議の後のお疲れのところでございますけれども、続けて全員協議会を始めさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

2 市長報告

○議長（中野康子君）

それでは、最初に市長報告のほうから、お願いをいたします。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、本会議に続きまして、私のほうから全員協議会の報告といたしまして、3点ほどお伝えをさせていただきたい。その後、副市長から1点お伝えをすることがございますので、私からは、まず3点、説明をさせていただきます。

1点目は、榛原総合病院内の新型コロナウイルス感染症の状況。これにつきましては、先日、榛原総合病院が県からクラスターの認定をされたということです。その件。それから、本会議最終日に提出をさせていただきます第10号補正予算の概要ですが。それから、3点目は新春顔合わせ会のことについてということで、3点をまず報告をさせていただきます。

1点目の新型コロナウイルス感染症の榛原総合病院の感染状況についてということで、別添の榛原総合病院感染者情報というものがございますので、ごらんをいただきたいというふうに思います。

まず、病院の状況でございますが、今回の感染者の発生状況につきましては、ここに書いてございますように、まず12月1日（火）にリハビリ病棟において患者1名の陽性を確認したということであり。これにつきましては、他のあじさいへ転院を予定していたという中で、スクリーニングをするということで実施をしたところ、陽性であるということが判明したということであり。

そうした中で、夜勤者及び同室の患者の検査を実施して、これは全員が陰性であったということでもあります。

その当該病棟の患者34名、看護師、助手、リハビリスタッフ16名の検査を実施したところ、患者2名の陽性を確認した。これが12月1日であります。

そして、翌2日につきましては、リハビリ病棟以外の全員の患者183名、リハビリ病棟に関与

があった職員73名の検査を実施して、全員陰性であることを確認したということでもあります。

そして、翌3日については、外来透析者44名、委託職員、派遣職員含む241名の検査を実施し、全員が陰性であったと。

去る、また翌4日ではありますが、リハビリ病棟患者及び関係職員の2次検査を実施をしたと。2回目の検査ですね。患者1名（4例目）の陽性者を確認をしたということでもあります。

そして、12月6日ではありますが、これについてはリハビリ病棟で微熱やせき等の症状が見られる患者3名に再検査を実施し、3名とも陽性を確認した。これが5例、6例、7例目ということでもあります。

翌、月曜日に新たにリハビリ病棟で発熱した患者1名に再検査を実施して陽性を確認ということで、これで計8名ということで、昨日、榛原総合病院のほうで院長と金先生のほうで記者会見を行って、こうした経過、それから、今後の病院の対応等について記者会見をしたということでもあります。

この間、785件の入院患者あるいは外来患者、職員等の検査を行い、さらに再検査を54件行っています。計839件のPCR検査を実施したということでもあります。

今後、病院としては、病院のスタッフは2週間に1回程度の再検査を繰り返し行っていくということでございます。

病院の状況2点目ではありますが、リハビリ病棟については、いわゆるイエローゾーン的な対応ということで、防護服を着用して、感染拡大防止に努めているということでもあります。

それから、リハビリ病棟の患者につきましては、健康観察の必要な患者の確認とエリアを分けて、いわゆる治療を行っているということでもあります。

それから、感染が確認された患者については、院内の新型コロナウイルス感染症の専門病棟で治療中であるというふうに発表がされました。

それから、引き続き、入院患者及び職員に対して定期的な検査。先ほど申しましたように2週間に1回程度行うということでもあります。

そして、緊急性のない手術は患者と相談して延期をしていくということでもあります。

それから、救急搬送の受け入れを当面休止するということでもあります。これについては、一部制限をするということで、心臓等の命にかかわる患者さんについては対応をするということで発表をされております。

それから、リハビリについても、当面休止をすると。

外来診療については、現時点では継続をしていくということでございます。

いずれにしても、感染経路、これについては不明ということで、昨日もお伝えをしたということでもあります。

日程がずれて陽性者が出ているわけですが、これについても感染といいますか、いわゆるウイルスを何らかの形で受けた時期は同じであって、個人差によって陽性になる時期、いわゆる症状が出る時期が異なるということですので、1週間程度はこういう状況が続くというふうに考えて

いるということであります。今後、出ないことを祈っているわけでありますが。

そして、そういう中で私としては、その次の別添にございます市長メッセージというものを昨日、出させていただきました。これにつきましては、12月1日以降、榛原総合病院のいわゆる医療従事者等がいろんなところで、本人あるいは家族が差別的な待遇を受けているというようなことも耳にいたしましたので、それ以来、2回目のメッセージを出させていただいたわけですが、そういう中においては、まず、ここに下線が引いてございますが、病院では一日も早い収束に向けて全力を尽くしているということで、私としても一日も早い収束を願うということがまず1点であります。

それから、その下の下線部分であります。院内での感染ということで、不安を感じるということもございしますが、感染された方を誹謗中傷差別することのないように行動、言動を謹んでいただくとともに、病院職員やその家族に対して、絶対に偏見や差別することのないよう冷静な対応をお願いしたいということであります。

また、榛原総合病院の外来診療につきましては通常どおり行っていますと。受診を必要とする方については、受診を控えて病気が悪化するということがないよう心がけていただきたいということをメッセージとして発信をさせていただきました。

このほか、やはり予防接種等についても控えるような動きがあるとすれば、もう一度ここについてもしっかりと。リスクとしては今、どこの診療所あるいは病院へ行っても、決してリスクがゼロということはございませんけれども、やはり、そのリスクを恐れて病気の悪化であるとか、あるいは予防接種を受けないということのほうが、そのリスクがもっと大きいというふうに思いますので、そういったことのないように対処していきたいというふうに思っている次第であります。

それから、もう一つ、市といたしましては、先ほど申しましたように、医療従事者あるいは介護従事者等に対する偏見等があるということでありますので、相良、榛原の両庁舎に懸垂幕を設置をする準備をしております。その懸垂幕については、その文言であります、「戦う相手はウイルス、そして全ての医療・介護従事者に感謝を」というような形で懸垂幕を掲げる予定であります。

ここ数日のうちに掲げる準備ができるというふうに思いますので、ぜひとも、そういう形で医療従事者等に感謝をしていただいて、医療崩壊を招くことがないように我々としても協力をしていきたいと思ひますし、やはり、何といたっても一人一人が感染しない、感染させないということが大事だと。もう一度、感染症対策をしっかりと市民の皆さんに徹底をさせていただいて、感染防止につなげていきたいというふうに思っております。

そういう中で、今回14例ということでありますが、院内での感染が8例、それから、施設の感染が2例ということで、14例のうち、10例が施設内ということであります。

市内の至るところで感染が始まっているというよりも、施設内での感染ということでありますので、市内での行動については、余り極端な自粛はされないほうがいいというふうに思っております。

ます。感染防止を図りながら生活をしていただきたいというふうに思っております。

まず、榛原病院に関する感染の状況については、以上であります。

令和２年度一般会計補正予算（１０号）については、最終日に提出と先ほど申しましたけれども、最終日に審議ということでございます。追加議案を予定させていただいたものでございます。

これにつきましては、令和２年度の一般会計補正予算についてであります。１１月の定例会において、既に補正予算第９号の提出をして、ご審議をお願いしているところでございます。

このたび、教育費のＩＣＴの活用推進事業費において、小中学校での１人１台端末の整備にかかる契約額の確定によりまして、約５,３００万円の契約差金が生じたところでございます。

この端末整備の事業費には、新型コロナウイルス感染症対応の地方創生の臨時交付金を充当しておりますが、交付金を最大限、有効に活用するためには、速やかに新たな事業への予算の組みかえを行いまして、十分な執行期間を確保する必要があることから、急遽ではあります。今定例会に追加で第１０号の補正予算を提出すべく準備を進めているところでございます。

追加補正の内容でございますが、現時点では未確定であります。全て新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する事業とする方向であります。

予定している主な事業といたしましては、まず、市内での感染者の増加に鑑みまして、重症化リスクが高いといわれる高齢者及び障害者施設への新規入所者へのＰＣＲ検査等の検査費用の助成を初め、高齢者や障害者施設のほか、保育所、幼稚園、放課後児童クラブ、小中学校等の各施設で感染者が発生した場合における関係者の検査費用を一定の基準により助成することを現在、検討しております。

また、９号補正でも計上いたしました公共施設における感染拡大防止対策として、新たに中学校の理科室への空調設備の新設を初め、放課後児童クラブ等の児童福祉施設、コミュニティ防災センター、史料館及び庁舎等の故障もしくは老朽化している空調をいわゆるウイルス対応型の空調にかえるということで改修工事を盛り込むことで考えております。

さらに、市内での感染者の増加に伴いまして、今、この年末の稼ぎ時の飲食店等でございますが、非常にキャンセル等が相次いで、売り上げの低迷が危惧されているという商工業者を支援するために、本年９月から１０月にかけて実施をいたしました「ＲＩＤＥ　ＯＮ　ＭＡＫＩ　ＮＯ　ＨＡ　Ｒ　Ａ　飲食店応援スタンプラリー」のような市内における消費喚起の実施を検討しているところでございます。

これについては、今、市の公式ＬＩＮＥがございますが、このＬＩＮＥの登録者増、これも含めて、登録者をふやす、そういったことも踏まえたシステムを関係の事業者と協議をするほか、商工会とも協議をしております。

時間がありませんので、どこまでできるのかというのは、これから勝負であります。短期間の中で、この制度を設けて、市内の経済対策活性化を図っていきたいというふうに考えております。

こういった形で追加議案をお願いする予定でありますので、よろしくをお願いしたいと思います。

す。

それから３点目でございますが、令和３年の牧之原市新春顔合わせ会についてであります。

先月の11月17日の議員全員協議会でお知らせをいたしました新春顔合わせ会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、開催を中止するという判断をいたしました。

例年、顔合わせの会での会場で実施している表彰式につきましては1月4日（月）午前9時30分から榛原庁舎4階の会議室でとり行う予定であります。

感染の拡大の状況から出席者については、表彰者、被表彰者ですね。それから、議会からは正副議長、そして自治会からは正副地区町会長、そして市の方は三役、そして担当課職員という形で極力、人数を絞る形で表彰をさせていただきたいというふうに思っている次第であります。

私からは、以上でございます。

○議長（中野康子君）

横山副市長のほうから、お話がございますのでお聞きください。

副市長。

○副市長（横山裕之君）

それでは、私から活性化センターからのご連絡を１点させていただきたいと思います。

例年、お正月に相良サンビーチで行います元旦の初詣の神事につきましては、先日の理事会で、やはりコロナ禍でありますので、中止をするということで決定をさせていただきましたので、よろしくをお願いをしたいと思っています。

また、これに合わせまして、議員の皆様にご案内通知を出させていただいているんですが、今回はなしということですから、出すのは控えますのでよろしくをお願いをしたいと思っています。

また、砂浜で毎年、鳥居は建ちますので、今回も鳥居は建つということでございますので、自由参拝ということになりますので、よろしくをお願いしたいと思います。

何とぞ、ご承知おきいただきたいと思います。

○議長（中野康子君）

ただいま、市長と副市長のほうからご報告がございましたけれども、何か質問がある方はどうぞ質問をなさってください。

平口議員。

○５番（平口朋彦君）

榛原病院についてなんですけれども、以前、サーフィンホストタウンの関係で、中国から大きな声援ということで、マスクや防護服を送っていただいたように記憶をしております。今回、患者さんは感染されていますが、職員さんが感染しなかったというのはこの防護服の存在が大きいのかなと思うんですけれども、現在、この防護服って、まだまだ潤沢に足りている状況なのかどうかというところをまず一つお聞かせください。

あと、10号補正について、これからという話なのであれなんですけれども、今回の入札で5,300万円の差額があったということで、この経済対策をするというふうにしたのか、今までの説明で

すと、今後は保健衛生のところに使っていくというようなニュアンスが強かったのかなと思って。経済対策というのも話はなかったと思うんですけども、この5,300万円の存在があつての経済対策なのかどうかというところ。

あと、さんざんっばら、今、議場で図書館やって、皆さん食傷ぎみだと思うんですけども、他市町では図書資料、貸し出しの本というのが、皆さんが手に触れて、それを全てを職員さんが殺菌していく、消毒していくというのは非常に大変ということで、書籍滅菌器というものを購入したりとかしているんですけども、まさにこの感染拡大には一番有効な予算の使用使途かなと思います。

その辺についての見解をお聞かせいただければと思います。

○議長（中野康子君）

では、防護服から。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、防護服の足りているか足りていないかというのは健康推進部長のほうから答えさせていただきます。

それから、図書館の関係のことにしましては、教育文化部長からお答えをさせていただきます。

そして、今回の追加補正の関係でございますが、先ほど、説明をさせてもらったとおり、入札の結果5,300万円ほどの入札差金が生じたということであります。そういう中で、これまでもいろいろなコロナ対策を行いたいという中でございましたけれど、国からの予算の配分の範囲内ということでありますので、できなかったものが、いわゆる積み残しがある。そういったものとか、あるいは来年度に予定していた事業を前倒しをして、さらにその効果を見ようということでありますので、空調施設プラス、そうした今回も各学校とか、庁舎内で活用する感染防止のための防護服であるとか、フェイスシールドであるとか、消毒液、こういったものが全て要求どおり、今、認めていく考えであります。

そういう中で、経済対策というものを最後に一つ説明をいたしました。ここへきて、年末にきて、市内でもやっぱりコロナ患者がふえていると、これは市中で広がっている、あるいは飲食店で発生している、クラスターが出ているという状況ではないんですけども、やはり市民の皆さんの意識からすると、どうしても自粛傾向に入っているということでありますので、いろんな工夫をして、少人数であるとか、あるいは人数が多くてもスペースを置いてやるとかという工夫をしていただいて、やはりそういった市内経済を支える部分も行っていただきたいというふうに私としては思っています。ということなので、そういった対応をしっかりといただくところも含めて、飲食とあるいは民宿等ではありますが、そういったところの今、一番大変というふうに伺っているところの経済的な支援をしたいというふうに思っている次第であります。

もう一つは先ほど言いましたように、LINEの登録者が前回、この花火の状況だったかな、

そのときにかなりぐっと右肩上がりに伸びたんですね、お得情報で。なので、それ以来、8,400人、8,500人でとまっているんですね、登録者が。私としてはこれを15,000人とか20,000人に上げていきたいという目標がございます。なので、このLINEの登録者であることをお店に見せて、例えばポイントをつける、ポイントがたまったらこの間のように商品券とかえるとか、できることなら僕はそのポイントを付与した時点で、お店から直に値引きができるみたいな、そういうこともちょっと検討してほしいということで、今、担当の中でシステムについては検討をしています。ですので、ラインの登録者の増、それから経済対策。これも急遽ではありますが、ニーズがあるということでもありますので、対応をしていきたいというふうに考えている次第であります。

○議長（中野康子君）

それでは、防護服。

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

それでは、感染予防におけるマスクですとか防護服の関係でございます。

今のところ、榛原総合病院に関しましては、マスクや防護服が不足しているということの相談は受けておりません。以前、一時期、不足した時がありましたが、その後、備蓄を含めて用意をしているということですが、今はこういう状況ですので、また何か市の支援が必要であればということで情報の共有はしていきたいと考えております。

もう一つは、福祉施設、特に高齢者の施設なんですが、それぞれ、国、県の補助金を活用しながら、やはり同じように備蓄をしているところでもありますけれども、先日、あじさいの職員の方から、1名入所の方が感染を受けたというときに、ふだんよりも頻繁に手袋や防護服を使わなければいけないということがありまして、その補充は県のほうから来る予定にはなっていたんですけれども、少し間に合わない時期もありまして、市のほうも支援とか相談に乗ったという経緯がございます。そういったことも考えまして、市としましても少し備蓄をしておりますけれども、もう少し備蓄を考えたほうがいいのかということで、今、準備をしているという状況でございます。

以上です。

○議長（中野康子君）

図書館の。

教育文化部長。

○教育文化部長（内山卓也君）

私からは、書籍の滅菌器のお答えをさせていただきます。

こちらにつきましては、6月補正の中で除菌ボックスというような製品になろうかとは思いますが、こちらのほうを榛原図書館、それから新相良の図書館、1台ずつ購入をするということでコロナ対策の交付金を活用させていただいて、63万円ほどの予算を確保させていただいて

おります。したがって、現在、仕様書をつくって、契約手続も済んでおりますので、今後、配備をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（中野康子君）

よろしいでしょうか。

村田議員。

○9番（村田博英君）

ワクチンの件で、状況がわかればと思うんですが、もうヨーロッパで接種が始まったとか、それから、年内にもというようなテレビ等、メディアのほうが前のめりというんですか、そういう話があるんですが、実はまだワクチンは治験が足りないというような話もあったり、非常に不確かな状態ではないのかなと思います。これ、国のほうで動いている話よりも、何となくニュースワイドで流しているほうが真実味が沸いているような感じがしますので、この辺は状況をぜひ、市民に対しての安心安全のために確かな情報を、まだわからないとか、まだまだこれからだとかというようなことを流したほうがいいのではないかと思います。その辺をお願いします。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私のほうから、少し概要をお話させていただいて、詳細については健康推進部長からお答えをさせていただきます。

今現在、国のほうからは、年度内にワクチン接種ができる準備をするように指示が出ておりますので、通達が出ておりますので、それに従って、現在、健康推進部のほうで、準備をしております。ですので、その詳細について、健康推進部長のほうから、お答えをさせていただきます。

○議長（中野康子君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

ワクチンにつきましては、今、今年度中に市民の方に、いわゆる受診券ですね、そういったものを配布できるような準備を進めるようにということの連絡は受けております。

ただ、11月の末ごろに、そういったもう少し詳しい情報を国のほうからいただけるという予定でございましたが、今現在、まだ来ておりません。

そういう状況で、少しまだ準備が、やらなければいけないということの内容は確認をしていますが、具体的にどういった準備をすればいいかというところが、現在とはまっている状況でございます。

あと、新聞やいろんな報道等では、今年度内に日本でもワクチン接種をということが流れておりますけれども、具体的な通知が今は全く届いていないということで、やはり、あやふやな情報は流せないということで、現在は国からのきちんとした正しい情報を、今、待っているというの

が実情でございます。

○議長（中野康子君）

村田議員。

○9番（村田博英君）

ワクチンもいろいろな種類が出ていて、零下70度で保管しないといけないとか、副作用があるとかいうことで、オリンピックの選手が接種しないというような話も出ている。危ないものをそんな早目にもらってもしょうがないんでね。ぜひ、そのところはお願いしたいと思います。

○議長（中野康子君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

私たちも、これは日本だけではなくて、世界中が多分そのワクチンの効果と、それから、副反応の状況というものは、情報を見守っているというところはございますので、そういったものは正確な情報をいただきながら、きちんとワクチン接種に向けて準備を進めていきたいと考えます。

○議長（中野康子君）

そのほかに質問ありますでしょうか。

植田議員。

○8番（植田博巳君）

すみません。さっき榛原病院の関係のあれはお聞きしたんですけれども、海山荘は介護施設で高齢者も多いし、デイサービスもやっているということで、海山荘のほうもあれですかね。2週間に1回ぐらいのPCRの再検査とかって、そういうことは、やられているんでしょうか。その経過だけ教えてください。

○議長（中野康子君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

海山荘につきましては、今のところ、職員の方、最初の方が1名陽性ということで、保健所にもお願いをしまして、デイサービス利用者の方、その職員の方と接触があるないにかかわらず、デイサービスの方、利用者の方、全員の検査をいたしました。それから、施設の職員の方もデイサービスにかかわらず、入所の方も含めて全職員検査を行いまして、全員陰性でございました。最初の方が陽性という確認を受けてから、既に1週間ほどたっているわけですが、現在のところ体調を崩されている方は見つかっていないということで、この施設においては感染が広がっているということは、今現在、考えておりませんので、どちらかというとデイサービスの再開に向けて、今、施設と合わせて市のほうも相談を受けながら、準備のほうを進めさせていただいているという状況でございます。こういった場合には、繰り返し検査をするということも施設にとってもかえって負担があるということで、また何かありましたら早急にこういった幅広い検査態勢が取れるようにということで市のほうは支援をしていきたいなというふうに考えておりま

す。

○議長（中野康子君）

植田議員。

○８番（植田博巳君）

了解しました。本当に高齢者の介護施設でクラスターが出たとなったら、もう大変なことになりますので、ぜひ、その辺の感染防止、今はもう徹底してやっていらっしゃると思うんですけども、さらに注意してやっていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今回、介護施設、海山荘で従業員がということで、１名感染者が出たわけですが、今回、当初は保健所のほうも、その該当しているリハビリの部署のみと、あるいは職員もその関係者のみというようなことで、行政検査を考えているというような状況でありましたが、海山荘側の要望といいますか、やはりそのフロア全体の関係者をということで、最初は40人、50人予定をしていたのを、市からも中部保健所にお願いをして、そのフロア全体の利用者、そして、職員については全員、これをやってほしいというお願いをして、行政検査の枠を広げていただいた経過がございます。そこが非常に難しいのが、余り広げ過ぎますと、今度は検査機関がパンクしてしまうと。今回はちょうど榛原病院の感染者と重なったということもございまして、一つには榛原病院も不眠不休でずっと検査を、最大１日300件の量をやるというような状況が病院だけではなくて一般の方もございますので、今回は医師会にお願いをして、海山荘の不足する部分に関しては、医師会のほうで検査をやっていただいたということでありますので、今後は、やはり病院だけではなくて、医師会とも大きく連携をしてやっていく必要があるというのを今回、痛切に感じた次第であります。

○議長（中野康子君）

そのほかにありませんでしょうか。

鈴木長馬議員。

○１番（鈴木長馬君）

私、戸塚坂を登りまして、牧之原インターの途中に、産廃の処分場を今、建設しているところがあるんですけど。

○議長（中野康子君）

鈴木長馬議員、きょうは、あくまでも臨時の全員協議会ですので。

○１番（鈴木長馬君）

そうですか。すみません。

○議長（中野康子君）

その部分ではちょっとお控えいただきたいと思います。

名波議員。

○7番（名波喜久君）

全体的なことになっちゃうんですけれども、さっきもありましたように、ワクチンの関係とかいろいろあって、年度内とかいう話が出てくるけれども、ここの話の中で、いろいろ皆、聞いている人が年度内というのと、12月をめどにみている人がいるし、それで公でいけば、春の3月の決算の中を年度内、その辺をこれからスピーディーにやるものがあるものですから、できればその年度、お正月じゃなくて、年末までか、ということじゃなくて、決算年度内とかって、そういうところも一つ言っておいたほうが、話の中で出しておいたほうがいいんじゃないかなとそういう気持ちがありましたものですから、一応、それだけ話を。

○議長（中野康子君）

そのほかに質問ありませんでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それでは、以上で終わらせていただきます。

当局の皆様、ありがとうございました。

3 委員会報告 （1） 議会運営委員会

○議長（中野康子君）

委員会報告のほうに移ります。

議会運営委員会のほうを、議会運営委員長のほうからお願いします。

鈴木千津子議員。

○12番（鈴木千津子君）

議会運営委員会ですが、11月25日、（ア）ですけれども、学校再編計画の全員協議会での協議についてということで、この、きょうの本日、12月8日を決めさせていただきました。

そして12月4日です。

（ア）全員協議会、皆さんのところに12月8日についてということになっておりますが、この後の協議事項になります。

（イ）一般質問傍聴者への対応について。12月の定例会におきましては、一般質問における傍聴者がいつも多いですので、今までの傍聴席ですと、ちょっと足りなくなるということから、この4階大会議室において見やすいように映像の配信をするということで椅子の用意をいつもより多くするということになりました。そして、これまでどおりマスクの着用と、アルコールの消毒はもとより、検温についても当局が持っております自動ではかれるような検温器を設置し、傍聴者全員の方に、はかっていただくということになりました。

（ウ）議員研修について。これは前回、皆様のところに申し上げておりました、水の研究ということで、1月18日、全協の後ですけれども、午後1時半からということで、これは県の職員の

方においでいただきまして、今現在、お願いをしている仮称ですけれども、リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川の流量減少の問題ということで、とりあえずお願いをしております。このことにつきましては、きちんとしたテーマが決まり次第、皆様にお知らせいたします。

(エ) 視察についてです。これは初めて皆様に申し上げるわけですけれども、この大井川のリニアの関係で水の問題ということで1月18日に研修を受けるわけですが、情報によりますと、山梨県の笛吹市の笛吹川において、試掘をしたところのいろんな情報があるということです。そちらのほうへ行って、現地、現場、そういったことでの研修をしたいと思っております。それは2月4日。2月定例会がすぐございますので、なかなか日程が厳しいわけですけれども、一応2月4日ということで、相手方の笛吹市さんが受けてくださるということでしたので、そこでの話を聞きながら現地、現場での研修をしてきたいと考えております。あと、日帰りですので、朝も早いと思いますが、そうした行程につきましては、改めて決まり次第、また皆様にお知らせをしたいと思っております。

そのことに関しまして、もし議長、何か補足できるところがありましたら、よろしく願います。

○議長（中野康子君）

一般質問の傍聴者への対応で、本当に議運のほうでも今回、傍聴者をご遠慮した方がいいとかいろいろなことを考えましたけれども、12月のこの一般質問の定例会におきましては、例年来てくださる方たちがおりますので、席を二つあけたらいい、一つあけたらいいというようなことで、実際、私たちも座ったりしてみる中で、やはり今までのように一つ席をあけて、それから検温をし、消毒をし、そしてお茶を用意して対応をするということになりましたので、また、よろしくお願いをいたします。

それから、議員研修につきましては、先ほど議運の委員長からお話がありましたように、1月18日に県の水利用課の理事さんのお話を伺うことになっております。

それから、議員視察につきましては、やはり山梨県の笛吹市はトンネルを掘ったときに水が枯渇して住民が大変苦労したと、そういうことで皆さんが一生懸命になってその対応をした、そういった経緯も島田市さんもお話を伺ってきて、大変、参考になったというようなお話も伺いましたので、笛吹市のほうへ午前に行きまして、午後は山梨県立リニア見学センターのほうへ寄りまして、帰ってまいりたいというふうに思っています。そんな行程で伺わせていただきたいと思いますので、また、ご協力のほど、よろしくお願いをいたします。

以上です。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

4 協議事項 (1) 学校再編計画について

○議長（中野康子君）

それでは、協議事項のほうに移らせていただきます。

学校再編計画につきまして、皆さんで協議をしようということでございました。本日はたくさん事業が、その後にありますので時間の関係もございますので、具体的な意見交換ということじゃなくて、今後の進め方について皆様からご意見をいただきたいと思っております。

議運のほうでは、レジュメの項目について意見交換を行っていきたいというふうになりましたけれども、今回、一般質問のほうで、学校再編計画について質問をなさる方があるので、差しさわりがあると悪いので、一応、全協の後にしたほうがいいかなということでご連絡をいたしましたら、いや、ダブることはないということと、議会は市民の周知をどのようにするかを話し合うのが議会でやることだとおっしゃっていただいたので、本日、この学校再編計画についてどういった形でやるのが皆様にとっていいのか、当局のほうも議会のほうの意見を聞く機会を持つというようなこともおっしゃっていただいておりますので、どういった形でやっていくのがいいのか、その辺をお話いただければというふうに思います。

よろしくお願いします。

いかがでしょうか。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

やはり、学校再編計画って、市のまちづくりに関して将来的な影響が大きいと思うんですね。それで、我々は市民意見交換会に参加してくださった方ももちろん、ある一面では市民の代表なのかもしれませんが、こういった言い方をしたら失礼ですけど、300人ほどが参加されて、代表という根拠はないんですよね。ただ、我々、議会議員は選挙を経ていますので、もちろん白紙委任はされていませんが、ある程度、皆さんに票を投じてもらって背負っている票というものがあるので、代表機関として、まずは各議員がどういったことを感じていらっしゃるのか。最終的に統一見解を持つというのはちょっと難しいのかなとは思いますが、ただ、どの方が地域の方からどういう問い合わせを受けているのかとか、どの議員さんが校数についてどういう考え方を持っているのかというのは全く知らない状態なんですよ。まずは、皆さんの考え方をお聞きする、どういうふうに考えていらっしゃるのかをお聞きするというところから始めていくのいいのかなとは思います。

○議長（中野康子君）

ただいま、平口議員がおっしゃっていただいたようなことで、進めていってよろしいでしょうか。

吉田議員。

○4番（吉田富士雄君）

ちょっと自分は考えたんですが、先立っての意見の中で太田議員と名波議員が言われたように、この前の報告会というか、あったんだ、地域の。限られたお年寄りの方というか、役員の方が出

での意見交換だから、ちょっと自分が思っていることは、若い方の意見を聞くといってもなかなかできないものだから、そういう中学校とか小学校とか保育園の若い人たちのところへ意見箱みたいなようなものを置いて、この再編計画について意見を議員の前でしゃべってくださいといっても、多分しゃべらないと思うので、意見箱のようなものを置いてその中へ、再編計画について、ある程度テーマを絞って、それについて意見を書いてもらったら若い人たちの意見をもらえるんじゃないかなと自分は考えました。どうでしょうか。まあいいか悪いかはわかりませんが。

○議長（中野康子君）

今、ちょっとあれですけど、それは小学生とか中学生とかの若い人たちって。

○4番（吉田富士雄君）

父兄の。父兄からの意見を、保育園とか。

これから10年後の話なものだから、まだ先々の話はそういう若い人の考え方。なかなか、言えていっても言わないから、そう意見で投書箱というか意見箱みたいな中に入れてもらったら。学校へ置いてもらって聞いたらどうかなって考えました。

○議長（中野康子君）

そのほかに意見どうでしょうか。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

全協で意見交換ということなんですけれども、まず、こうなったいきさつというのは先月の全員協議会で平口議員、総務建設委員長のほうから、学校再編計画について市民意見交換会が10地区あって、それを受けて、今、議会として何をということで問題意識をもって一度ということだったと思うんです。今、最初に、ここの協議事項にも書いてありますけれども、これを今からやっていくということになると、今後、議会の学校再編計画については全員協議会の場合へ移るといふ、そういうような印象を持ったんです。基本的には、あくまでも現状だと所管は文教厚生委員会なのですから、だから、そこを少し踏まえて、もうこれはきっちり全部やっていくんだということで委員長のほうも文教の委員長と確認が取れているならば、それでいいですけど、ちょっと意見といっても出しづらいような感じがしたんですけれども、その辺どうでしょうか。

○議長（中野康子君）

全くそのとおりで、私が前回、申し上げたのは、文教厚生委員会、それから総務建設委員会で意見を出しやすい雰囲気を出していただきたいというふうにお願いしたんですけど、総務建設委員会のほうでは、差しさわりがあるというような話で、それで何となく全体でというような形になったものですから、一応、今回、議運のほうでは、こういったテーマでやっていったらどうかと。結局この再編計画のまとめのほうを見させていただく中で、皆さんでこのような形にさせていただいたんですけれども、それはそれで大切な意見だというふうに思っていますので、そういう部分も含めて、ぜひお話し合いをしていただきたいというふうに思います。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

ちょっと、よくわからないんですけども、このきょうの1からその他まで入れて、その他ということは全てということだと思うんですけども、これについてどう考えるかという、それぞれの。

余りにも、大きい。

私は感覚的にこの意見交換会のまとめをもって、この中で市民の方から出された意見の中で議会として、このことについては全体で検討しなければならないことが含まれていれば、それについては、まず今、ここで議会としての考え方をというように自分は感じていたものですから、今の説明だとそういうことではなくて、全体をこれからどういうふうに進めていくかということなので、どのような意見を出したらいいかなってちょっと今、思っています。

副議長。

○15番（大井俊彦君）

それこそ、全員協議会という場でやるのがいいのかどうかというのは別にしまして、皆さんからとにかく当局が進めている学校再編計画について、議会としても皆さんの意見をある程度聞いておいて、それを一本化することじゃなくて、平口議員が最初に言いましたけれども、まずは議員の皆さんが、この再編計画について、どのように考えているかというところの切り口から入って行って、そこにレジュメのほうに載っている項目などについて、ある程度、示していかないと意見も出しにくいのではないかとということで、そんな形で拾ってあるんですけども、それらについて、どんな意見を持っているかということ把握していきたいというような形で進めていったらどうかなという一つの案です。

ですから、今、議長が言ったように、皆さんが進め方について、どんな進め方のほうがいいのかどうかというその辺の意見を持ち帰って、また調整して、次回以降から進めていきたいというふうな考えを今、持っています。

○議長（中野康子君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

先ほど私、ちょっと進め方についてお話をさせていただいて、今、太田議員からもお話があったように、私がまず皆さんにお話ししたのは、あくまでも出発点の話なので、着地点はひよっとしたら太田議員がおっしゃるように議会でまとめるという着地点を皆さんが話をしていく中で思い描くのであれば、それは別に否定をするものではない。ひよっとしたら意見書を出すとか、提言をするということも着地点としてはあるかもしれませんが、まずはゴールを決めて話し合うのではなくて、皆さんの考え方を聞く中で、いやいや考え方を共有するだけでいいよねという、あとは議決に臨みましょうというのもありだと思うし、何らかここで市が計画を出してきたときに楔として、議会としては民意の代表としてこういうことをお伝えしますということを言ってもいいと思うんですよ。まずは出発点としては、皆さんの考え方を聞きたいかなと思ってお話をさ

せてもらいました。

○議長（中野康子君）

副議長。

○15番（大井俊彦君）

そうなんですけど。ただ、当局側のほうも素案づくりを進めているんですけども、そうした作業をしていく中で、議会側からの意見を聞く場も持ちたいというような発言もしておられますので、そうした意味においても議会側としても、皆さんの意見をある程度、集結しておいたほうがそういう対応について、やりやすいんじゃないかなというふうには思います。

○議長（中野康子君）

皆さん、ご意見がなかなか出にくいんですけども、きょう、今、出していただいた意見をもう一度、議運のほうへ持ち帰りまして、また練ってから、次回、お示しをするというような形でよろしいでしょうか。まだ皆さん、本当にまとまっていない突然のこういった計画でございますので。

植田議員。

○8番（植田博巳君）

学校再編計画の意見のまとめの中で、トークからも出ていましたけれども、まだこの学校再編計画自体を知らない方が多いという話で、これから若い世代の方に説明をしていくというお話だったんですけども、一つ、議会としては、PTA、幼稚園、保育園、小学校、中学校、そういう方々の保護者のほうに、そういった説明と、吉田議員から言われたけど、アンケート箱ではなくて、アンケートを市のほうから幅広い意見を聞くというようなことをお話をするのが、まず最初なのかなという感じはしたので、ちょっと意見を言わせてもらいましたけど。

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。

村田議員。

○9番（村田博英君）

私は、そのワークショップへ見学も行っていないし、あれなんですけど。行った方の大体の意見を聞いて、ありきという形で進んでいるなという、そのリーダーシップをとっている方が、あるいは講師がということをする人が多かったですね。

それと一般の方で、やっぱり知らないですね。えって、10年後そんなになっちゃうのというね。僕らは議員だから、言いたいほど毎日聞いているけど。だから、まだまだこれ時間をかけて丁寧にやらないといけないのではないかなという思いはしました。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

ということは、今後は学校再編計画については、文教厚生委員会じゃなくて、全体でいくとい

うことでいいんでしょうか。

○議長（中野康子君）

その辺についても、もう一度、議運で考えていきたいというふうに思いますので、きょう、結論はちょっと出さない。

とりあえず、きょうは、先ほども申し上げましたけれども、どういうふうに進めていくかということのご意見を聞きたいということで始めましたので、今、皆さんがおっしゃってくださったことを、もう一度持ち帰りたいなというふうに思います。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

議運で話すにしても、協議する、方向性を出す材料って必要だと思うんですよ。今、太田議員がおっしゃるような座組をどうするかというのは、皆さんにある程度、聞いたほうがいいのかなと。全員でやっていく方向がいいのか、小集団といったらおかしいですけどね、グループを割ってやっていくほうがいいのかという座組に関して、また持ち帰っても、余り変わり映えしないかなと。意向調査的な形で聞きたいなと思うんですけど。

○議長（中野康子君）

今、平口議員がおっしゃっていただいた、全員でやったほうがいいのか、また委員会で意見を出しやすくしていただいて、また、重立ったことを全員でやっていくような形でしたほうがいいのか、その部分についてはどうでしょうか。きょう、ここで皆様のご意見を伺ってもよろしいでしょうか。

よろしいでしょうか。ご意見を。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

やはり、まず議長、基本的には平口議員が提案したものについて、議長が持ち帰るということで議長判断でこういう形になった。それで、まずは全体を諮る前に、委員長同士でしっかりまとめてもらったほうがいいような気がするんですけど、なかなか皆さん意見っていっても、これは個々じゃないと思うんです。委員会としてどうかという問題が多分あるので。

○議長（中野康子君）

今、ご意見を出していただきましたけれども、やはり、よろしいでしょうか。議運のほうへ持ち帰らせていただいて、しっかりと練ってから、皆様方にしっかりとした形でお伝えさせていただくという形でよろしいでしょうか。いいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それでは、いいという形にさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、学校再編計画につきましては議運のほうでもう一度持ち帰らせていただきまして、しっかりとまた皆さん、していくようにしていきたいと思います。

5 その他 (1)

○議長（中野康子君）

5 番に移ります。その他の医療従事者への応援メッセージにつきまして、ちょっとお聞きいただきたいと思います。

今年の5月に、医療従事者の皆様へ感謝の気持ちを伝えるために全議員の皆様のご協力をいただいて拍手で感謝の気持ちをお届けをいたしました。全国的にコロナの感染者が急増しており、また、牧之原市におきましても先月から感染例が本当にふえつつありまして、一部では感染された方だけでなく、同居する家族のほか、医療従事者や介護・福祉関係の従事者、その家族にまで差別や偏見、誹謗中傷などが起こっているというふうに聞いています。市内においても感染者が増加傾向にある中、全国的に医療現場の逼迫が叫ばれているところでありますので、再度、市議会として医療従事者に加え、介護・福祉関係者の皆様へ感謝の気持ちを伝えるとともにコロナによる差別や偏見、誹謗中傷をなくすことなどをメッセージとして発信してはいかがでしょうか、というふうに考えたところでございます。

この件につきましては、12月4日の議会運営委員会の中でも話題となり、取り組んでいってはどうかという方向となりましたけれども、ぜひ、全議員の皆様のご協力をいただいて、市議会として取り組んでいきたいと考えておりますけれども、いかがでございましょうか。

皆様、どうでしょうか。

賛同をいただけますでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。

村田議員。

○9番（村田博英君）

応援メッセージなんですが出すとするのであれば、これは医療関係者だけじゃなくて、感染者への偏見と差別、これは今、非常に社会問題になっていますので。なりたくてなったわけじゃないのでね。その辺を医療関係者と同等にぜひやっていただきたいなと思います。やるのであれば。

○議長（中野康子君）

村田議員がおっしゃったとおりでございます。

本当に皆様、ご賛同いただきましてありがとうございます。

それでは、皆様のご賛同をいただきましたので、市議会としてメッセージを発信していきたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

なお、日程といたしましては、12月15日の一般質問の終了後にお時間をいただきまして、撮影を行わせていただきます。

なお、今回は史料館の前で撮影を行いましたけれども、今回は寒い時期でもありますし、市議会としての取り組みをアピールするため、議場の演壇の前に並んでいただいて、撮影を行いたいのと思いますが、ご協力いただけますでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。

また、メッセージの内容につきましては、時間の関係もありますので、私にご一任いただきたいと思いますが、医療従事者及び介護、福祉関係者へのメッセージと拍手並びにコロナによる差別、偏見、誹謗中傷をなくすことをお伝えする内容を撮影し、市議会ホームページ等で配信していきたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いをいたします

それでは、皆様、本当にありがとうございます。

12月15日はよろしく、ご協力のほどお願いをいたします。

すみません。その他のほうで、どうぞ。

濱崎議員。

○2番（濱崎一輝君）

I C T推進作業部会のほうからの連絡になりますけれども、このたび、業者との調整が続きまして、12月中の納品が可能となりましたので、端末の配布及び説明会についてお知らせをさせていただきます。

かねて皆さんのほうに、12月23日本会議の最終日の終わった後に午後、説明会をしますよということでお知らせをしておりましたけれども、時間のほうが午後1時30分からという形になります。大体1時間から1時間半くらいになるかと思います。

この際に、アップルペンシルに関しましては、納入がちょっと間に合いそうもないものですから、ここでは端末の説明ということで、ドコモのほうからの説明。それから、あと会議システムの S i d e B o o k s に関しましては、事務局より簡単に説明させていただいて、アップルペンシルが1月ぐらいには入ってくるかなと思いますので、その時点で改めて説明会をさせていただきたいと思います。

今のところ、アップルペンシルのほう、S i d e B o o k s のほうの説明会ですけれども、1月12日に総務建設委員会がありますけれども、その午後ということで予定をしております。

もし、納入がおくれるということであれば、また再度、ご連絡をさせていただきますけれども、詳細につきましては、皆様方の状差しのほうに14日の一般質問のときまでに入れていくようにしますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

すみません、政策立案推進部会のワーキンググループ3から、お知らせをしたいと思います。

今、ワーキンググループ3では、ご報告のとおり（仮称）田沼意次侯のまちづくり条例を進めておりますけれども、ある程度、素案が形づけられてきたものですから、一度市民の皆さんからご意見を伺いながら、また、盛り込んでいきたいということで、ホームページで募集したところ、応募はゼロでした。それで、こちらで歴史とか文化に造詣の深い市民の方を中心に10名ほど声をかけさせていただいたら、皆さん快く了承していただいて、12月18日の13時半から、この大会議室で意見を伺うということで企画しましたので、また、傍聴等、よろしければお願いしたいと思います。

12月18日金曜日の13時30分からです。よろしくお願いします。

○議長（中野康子君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

内容がわからないんですけれども、それで市民に問うんですか。どういう感じですか。

○13番（太田佳晴君）

今、田沼意次侯に学ぶ牧之原市まちづくり条例、これを進めているということで全協でも報告をさせてもらっておりますけれども、どういった条文の中に、どういった考え方を盛り込んでいくかという、いろんな意見があると思うものですから、それを伺う。そういうことです。

○14番（大石和央君）

要は、骨子はもうできているといくことですか。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

ある程度の部会のほうで、こういう条立てでいきたいという一つの流れはできています。ただ、その中にこういった、例えば市民参加とか、そういったものについてご意見を伺いながら進めると、その一環として、やりたいということです。

○14番（大石和央君）

それはわかりましたけど、要はそういった骨子があって、それから市民に問うという形をとるんだったら、一度ここで、こういう骨子がありますよということを示してもらったほうがいいんじゃないかと思うんですけれども。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

我々が考えたスケジュールとして、まず、それで、ある程度、議会に示せるしっかりしたものをつくって、それで来月になりますけれども、議会のほうではしっかりとまた協議をしていただ

きたいと、そういう流れでいます。

○議長（中野康子君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

条例づくりというのは、言ってみれば、やはり議会からということになるわけですから、それは一步一步、部会だけで、がちっと決めるわけじゃなくて、その都度その都度、全員にこういう形だということのことが見えていて、そういう形で市民に問うということならわかりますけども、あくまでも部会ですので、部会が先行するというのはおかしいと思うんです。やっぱり委員会か、常任委員会とか、特別委員会でそういうことをやっているんだったら、委任されているわけだから、そこでやれば、ある程度まとめて言うというのはわかるんですけども、これは部会ですので、ちょっとそれはやり方としていいのかなという疑問はあります。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

そういった意見を踏まえて、今後、我々はある程度、今、二つのグループ、ワーキンググループ2については昨年の9月に条例制定ということで議会のほうに認めていただいた。ある程度、試み的な感じがあるものですから、これをやはり発展させて特別委員会とか、もっと部会として政策立案能力の高まるようなものにするためには、今、大石議員のほうから言われたような、そういったことも踏まえて、また今後の糧としてやっていけばいいかなと、そんなふうに思っております。

以上です。

○議長（中野康子君）

それでは皆様、以上で臨時の議員全員協議会を終了させていただきます。

ご協力、ありがとうございました。

〔午前 11時37分 閉会〕